

# 令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 28-2

担当部局・担当課名: 農林水産部 市場戦略推進課、水産漁港課

事業名	「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業	評価結果	一部改善
-----	-------------------------	------	------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・「富山のさかな・水産加工品」のブランド化は、富山県として進めていくべき課題であろう。
- ・新幹線輸送によるブランド化はトップを目指して、そこからすそ野を広げる、あるいは輸送費支援がなくなったときにどう継続させるのかなど、戦略を持つべきである。
- ・ホームページは大変良い内容であるが、プッシュ型広告も含めたSNSで情報を出すことでホームページに入ってもらうなど、発信の仕方を検討すべき。
- ・シーフードショーへの出展については、出展後のフォローの体制をしっかりと取る必要がある。

### 【県民評価者の意見】

- ・富山県にゆかりのある有名人による発信や、近隣県とのコラボなど、富山のさかなを知ってもらうことが大事。

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 11

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (もうやらなくていい)	役割分担 見直し (市町村単位でやった ほうがいい)	抜本的改善 (シーフードショー、新 幹線輸送、高付加価 値化のいずれか1つは やめたほうがいい)	一部改善 (シーフードショー、新 幹線輸送、高付加価 値化を進めるが、分 析・フォローアップを やったほうがいい)	現行どおり ・拡充 (今までどおりやる)
	0	0	3	7	1
県民 評価 者の 主な 評価 シート コメント	<p><b>【一部改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画サイトでのアピールはもっとやったほうが良いと思う。今YouTubeはバズったら面白いと思うので力を入れて欲しい。</li> <li>・ホームページはSNSとの連携が必要。</li> <li>・シーフードショー出展後のフォローアップまでをしっかりと行う必要がある。</li> <li>・「富山のさかな」は既にブランド化されており、これ以上のブランド化に対する事業は費用対効果が低下するように思う。</li> <li>・(富山のさかなのイメージとして)シロエビ、ベニズワイ、ブリ以外が湧かない。YouTuberとのタイアップは良い。</li> </ul>				
上記 以外	<p><b>【抜本的改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーフードショー出展については効果検証が必要。個別のバイヤーの訪問などを検討するとよい。</li> <li>・販路拡大のため、隣県への取組み、ふるさと納税やSNSに力を入れてもらいたい。魚とアニメなどとのコラボ企画が必要。</li> <li>・各地域(漁港)ごとの強みは把握されているのか。</li> </ul> <p><b>【現行どおり・拡充】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブック、インスタグラムの活用が必要。ホームページは堅苦しい。</li> </ul>				

<b>事業名</b>	「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業	<b>評価結果</b>	一部改善
------------	-------------------------	-------------	------

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (もうやらなくていい)	役割分担 見直し (市町村単位でやった ほうがいい)	抜本的改善 (シーフードショー、新 幹線輸送、高付加価 値化のいずれか1つは やめたほうがいい)	一部改善 (シーフードショー、新 幹線輸送、高付加価 値化を進めるが、分 析・フォローアップを やったほうがいい)	現行どおり ・拡充 (今までどおりやる)
	0	0	1	2	1
委員 の 主 な 評 価 シ ー ト	<p><b>【一部改善】</b>                      ・「富山のさかな・水産加工品」のファン(もちろん消費者としてですが)としては、富山のさかなが高付加価値化されるのはうれしくもあり、自分の口に入る機会が減るさみしさもあります。県民の理解も得られるよう、対象・目的・手段を明確にし、「高くても食べたい」となる思考回路になる工夫が必要。</p>				
	<p><b>【現行どおり・拡充】</b>                      ・実施している事業が富山のさかなを知ってもらうという目標につながるものと思われるため。</p>				